

隣保館の重要性を再確認

中央福祉学校

1月19日、20日にかけて、部落解放第25回中央福祉学校が兵庫県・神戸市勤労会館で15都府県連82人の参加のもとひらかれ、和歌山から平見良太・生活福祉運動部長をはじめとする6人が参加してきた。

はじめに、植村あけみ・中央生活福祉運動部副部長から本部あいさつをうけ、池田千津美・兵庫県連副委



全国から多くの参加があった

員長の地元あいさつ、則定 広人・兵庫県健康福祉部人権参事からの知事あいさつ のあと、学習①「地域福祉計画と隣保館」と題して、



厚労省から制度の説明をうけた

佐藤美雄・厚生労働省社会・援護局地域福祉課課長補佐から、これまでの福祉施策の展開からということ で福祉制度の変遷、生活困窮者自立支援制度の概要、今後の福祉施策の展開として「我が事・丸ごと」地域共生社会づくりに向けた包括的な支援体制の整備、隣保館の現状など、各地のとりくみ事例を紹介しながら報告された。

つづいて、学習②「相談機能の充実に向けて」とし、中尾由喜雄・全国隣保館連絡協議会・常任顧問兼事務局長から隣保機能やこれからの相談事業の充実に向けた学習をおこなった。休憩の後、9グループに分かれて2つの講演の感想や地域の隣保館の活動、福祉課題などを討議の柱にそれぞれ意見交換をおこない、1日目を終えた。

2日目は、代表者から各グループ討議の報告がされ、隣保館でおこなっている交流事業や見守り相談、生活実態調査などのとりく

今後の日程

(6月)

- 21 狭山ビラ統一行動 青年部と県環境生活部との話し合いに向けた打合せ会議
- 22 遠松忌法要
- 23 西光万吉顕彰会第6回総会(古和田会館)
- 26 湯浅町共闘会議第41回定期総会(ぬくもりセンター)
- 30 青年部と県環境生活部との話し合い(ビッグ愛9階)

(7月)

- 4 ふじいみきお出陣式
- 5 朝田善之助記念第37回同和教育研修会(京都市)
- 6 杭ノ瀬・平井 各支部大会
- 7 解放学校・県委員会・和歌山市ブロック会議
- 9 全国生活福祉運動部長会議(大阪市)
- 10 和歌山県人権施策推進協議会交渉 (アパローム紀の国)
- 19 我が事丸ごと学習会(同和企业センター)
- 22 県共闘会議就職差別撤廃にむけた要請行動人権啓発シリーズ講座第1回 (プラザホープ)
- 同企連第1回幹事会(プラザホープ)
- 県共闘会議幹事会
- 23 法務局交渉(和歌山地方合同庁舎4F)
- 24~25 企業・産業振興運動部実務者研修会(名古屋市)
- 全国人権保育研究集会第2回企画運営会議(福山市)
- ふれあい人権フェスタ第1回全体会
- 26 こころの研修(かつらぎ町総合文化センター)

<各行政交渉>

- 11 新宮 17 東牟婁振興局

第3次交渉

福祉保健部(1) 30・書道資料館

みなどが報告された。 つづいて、学習③「笑顔のまちづくりを進める『スマイルひろば』の取り組み」について、細見義博・特定非営利活動法人スマイルひろば事務局長から事業内容や成果について報告をうけた。最後に、山崎鈴子・中央福祉運動部長から「阪神淡路大震災から24年が経過。隣保館が果たしてきた役割は非常に大きい。避難

所としての指定は今後も重要となる。複合差別の視座が抜けており、次回になんらか生かしていきたい」とまとめと閉会あいさつをうけ、2日間の日程をおえた。

◆第26回中央福祉学校
○日時：12月14日(土) 15日(日)
○場所：ダイワロイネットホテル和歌山



保育にかんする課題を行政にぶつけた

隣保事業士の重要性は周知の事実。隣保事業士の育成をおしすすめてほしいとの要求に、県は研究事業に資格取得の枠があるので、市町に必要性を伝えると回答した。また、隣保館を防災拠点として位置付けるための改善について、耐震を検討している市もあるが、

隣保館ヒヤリング結果がだされるので報告をもらおうと回答した。

「和歌山県子供の生活実態調査」にかんして、総括と今後の課題を聞くと、県は1月に報告することに なっていたが遅れている。 どういう方向でとりくむかを明記していく。また、23 課室で共有してみ

なおしを検討すると回答した。平見良太・生活福祉運動部長は「実態調査が目的ではなく、その後 のとりくみが重要」と強く訴えた。

2018年度に改定された保育所保育指針の「国旗・国歌に親しむ」等追記された件について、昨年11月に栄谷・鳴神・安原・向島各保育所を訪

教育委員会(2) 6・県文

「全国学力調査」を部落の子どもの実態調査に活用することについて、県教委は個人情報があるので公表できないと回答。「推進法」第6条でも実態調査がうたわれており、部落の子どもの格差是正を強く訴えた。

また、夜間中学の設立(和歌山市内)、LGBTに関する人権啓発、今の高校入試制度について、部落問題をふまえてほしいと要求した。

工夫をしているが、現状を把握したいと回答した。

最後に「和歌山県解放保育研究会」の実施について、集会の実施が難しいから、せめて各保育所の課題を地域で共有すべき。家庭支援推進保育士の情報交換の場に追加してほしいとの要求に、県は検討すること。

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思っております。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟連合会内 解放新聞和歌山支局宛